

学力向上に向けた取組の充実

～課題は、家庭学習の充実です！～

本町では、全ての小中学校で「児童生徒の主体的な学びへの転換～サンタの学習指導過程の実践を通して～」の共通テーマ及び実践事項を設定し、学力向上に取り組んでいます。ところで「サンタの学習って？」と思われた方もいらっしゃるでしょう。サンタとは、「たのしく、ためになり、ためしてみたいくなる」の頭文字をとったものです(詳しくは、「夢実現 小中連携」で検索願います)。取組の一端は、令和5年11月8日(水)に、益城中学校において発表しました。今回は、益城中学校区の取組をということで、本校からは6年生外国語、5年生算数、2年生体育を見ていただいたところです。

本年度、県学力調査の結果を見ると、学校全体として向上しています。児童質問紙調査も行われていますが、その中から見えてくる課題は、「自分で計画を立てて学習する」児童の割合が低いことです。「やり方がわからない」や「時間が無い」などその原因はいくつか考えられますが、言うまでも無く、家庭で自ら学習する習慣を付けることは学力向上への大きな原動力となります。写真は6年生の取組ですが、各学年で学習の仕方を示したり帰りの会でおおまかな計画を立てたりなどの取組を進めています。

時間があるときでかまいませんので、ご家庭でも学習の状況を見ていただき少しの頑張りでもほめていただければと思います。肯定的に評価し、ほめていただくことで子どもたちのモチベーションはアップし、取組の継続や発展につながります。



6年生家庭学習充実の取組「自学王」

登校班編成会議(2月2日)

～お世話になりました～

登校班は、一般的に登下校の安全を確保する(交通安全、不審者対策等)ために、地域の子ども会等で主体的に編成されるものです。本校では、慣例として学校が登校班の編成をしていましたが、前年度の班をもとに近くに住む新1年生を入れていくといった具合で、実情をよく理解して反映させているとは言い難いものでした。編成後の保護者のみなさまからの要望も多く、学校としても対応に苦慮している状況もありました。本来であれば、各地区で児童・保護者の方が集まっただき編成いただくものでありますので、保護者のみなさまに主体的に関わっていただくための第一歩として、今回は編成状況や集合時間、場所を見ていただきました。委任状もとらせていただきましたが、参加が少なく、出席いただいた保護者のみなさまにはご苦勞をおかけしました。大変お世話になりました。

次年度に向けては、保護者のみなさま主体の編成で、より安全で安心できる形になるよう各方面との話し合い(存続の可否も含めて)を行ってまいります。



保護者の方と一緒に話し合いをする様子